

総選挙後、初の特別国会が終わる

11月1日、特別国会が42日間の会期を終え、終了いたしました。

そのうら健太郎にとって、初の国会でしたが、本会議、担当委員会にはすべて出席（財務・金融委員会、拉致問題に関する特別委員会）しました。先月号でお伝えしたように、拉致問題に関する特別委員会において、初めての質問も経験しました。先輩方の代理で、予算委員会や総務委員会、災害に関する特別委員会などにも出席し、充実した42日間でした。

30法案が成立しました(特別国会)

今国会では、30本の法案が成立しました。主なものを報告いたします。

郵政民営化関連法 総選挙の最大のテーマであった法案。小泉改革は総選挙で示された国民のみなさんの意思により、再び動き始めました。選挙の結果を受け、前の国会であれだけもめた法案でした。改革に大きな弾みがつきました。初代駅頭（初代郵政大臣）の濱口梧陵さんが、「将来は民間経営にゆだねるが良い」と語ってから、134年目の大改革です。

障害者自立支援法 障害者への支援制度を国や自治体の義務とすることを決めました。また、障害者の方に可能な範囲での負担を求め、将来にわたって、持続可能な支援制度を定めることを目的としています。

銀行法改正 先月号でご案内したように、銀行の代理店設置を認める制度です。スーパーやコンビニなどが代理店となれば、ローンなどの有人業務が可能となります。金融面における規制がようやく、先進諸外国並みに緩和されました。

耐震改修促進法 選挙でもお話しした大規模地震対策の法案です。

政治資金規正法改正 団体からの献金を透明化するものです。

風俗営業法改正 無店舗型営業、いわゆるデリバリーヘルスなどに対する規制を強化するための改正です。

国会議員歳費法改正 人事院勧告に伴い、国会議員の歳費を引き下げました。

自由民主党 青年局次長に就任

このたび、内閣改造が行われ、第三次小泉改造内閣が発足しました。「ポスト小泉」と言われている方々では、安倍さんが官房長官、麻生さんが外務大臣、谷垣さんが財務大臣に就任しました。内閣改造に伴い、副大臣、大臣政務官、党の人事も行われました。そのうち健太郎は党青年局次長に就任いたしました。

議員年金の廃止が決まる！

議員の特権の1つと言われていた議員年金の廃止が決まりました。来年の通常国会に法案が提出される予定です。年金財政が厳しくなる中で、7割も国庫負担をしていました。将来のことを考えれば、これから国民のみなさんに負担を求めていく場面も出てきます。その前に議員が襟を正し、政府のスリム化を進めていくのは当然です。

対案主義を歓迎します

私にとっての今国会の最大の関心事は、野党側から多くの対案が出てきたことでした。これまでの（いわゆる55年体制下）野党といえば、牛歩戦術や審議拒否が当たり前でした。国会が空転し、多くの時間が無駄に費やされてきました。

しかし、今国会では、郵政民営化法案、障害者自立支援法案などで対案が提出され、質疑、討論が行われました。法案の出来には、多少、問題点もあったように思いますが、与野党が法案を出し合い、論戦を行うのは素晴らしいことです。国会とは本来、論戦の場であって、審議をする場です。その意味では、「55年体制」のような審議拒否をなくして、政策を競う「2005年体制」ともいえる国会運営をこれからも続けて欲しいと思います。

発行 そのうら健太郎事務所

国会 東京都千代田区永田町2 - 2 - 1 - 211
03 - 3508 - 7701 (直通)

地元 千葉県市川市八幡2 - 16 - 20 - 203
047 - 318 - 1001

Eメール sonoura@au.wakwak.com

ホームページ <http://www.sonoken.org>

(日記を毎日、更新しています)

ご意見、ご要望をお待ちしております